第 57 回 数理社会学会大会（JAMS57）プログラム

日時：2014 年 3 月 7 日（金）～8 日（土）
会場：山形大学小白川キャンパス　基盤教育 1 号館 2 階
大会委員長：山本英弘（山形大）

1　参加費，懇親会費（セミナーおよびシンポジウムの参加は無料）

大会参加費	一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	1,000 円
	一般（非会員）	5,000 円	学生・院生（非会員）	1,500 円
懇親会費	一般	6,000 円	学生・院生	2,000 円

2　主なスケジュール

	時間	122 教室	124 教室	その他
3 月 7 日	10:30～11:45	第 1 部会　移民・国際比較	第 2 部会　メディア・言説	
	13:00～14:20			萌芽的セッション（126、127 教室）
	14:30～16:30	ワンステップアップ・セミナー		
	16:40～17:40	総会		
	18:30～20:30			懇親会（山形国際ホテル、3 階「富士西の間」）
3 月 8 日	9:30～10:45	第 3 部会　経済・シミュレーション	第 4 部会　教育・階層	
	11:00～12:15	第 5 部会　ネットワーク・結婚	第 6 部会　計量の方法	

3　主な会場（懇親会以外すべて山形大学小白川キャンパス　基盤教育 1 号館）

・受付：基盤教育 1 号館　玄関．会員控室・抜き刷り交換コーナー：基盤教育 1 号館　121 教室

4　口頭報告者へのお願い（自由報告）

・部会開始 5 分前に集合して，司会者と打ち合わせをしてください．報告 15 分，討論 10 分です．
・会場設置パソコンを利用できます（Windows7, 8，Office2013）．持参パソコンの場合，Windows ノートパソコンが使用可能です．その他の機器使用を希望する場合はご連絡ください．
・ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）．
・配布資料は，報告直前に配布してください．残部は持ち帰るか，抜き刷りコーナーに置いてください．
・（司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください．報告 12 分で 1 鈴，15 分 2 鈴，25 分 3 鈴を鳴らします．

5　ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

・ポスターは大会開会から大会閉会までの間掲示（貼付用具は会場貸与）．閉会後は各自で持ち帰ってください．
・最大 A0 判（横 841mm，縦 1189mm）のスペースが利用可能．報告ごとにポスター位置が指定されています．ポスターの貼りつけには画びょうあるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です．
・部会開始 5 分前に集合してください．

6　問い合わせ先

研究事務局　〒603-8577　京都府京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学産業社会学部　筒井淳也　E-mail：jams.research@gmail.com，TEL：075-466-3484
大会事務局　〒990-8560　山形県山形市小白川町 1-4-12
山形大学地域教育文化学部　山本英弘　E-mail：hide-y@e.yamagata-u.ac.jp，TEL：023-628-4389

3月6日（木）

（※諸会議は「基盤教育1号館」にて開催。）

13：00～15：00　研究活動委員会　21 演習室

15：00～17：00　編集委員会　21 演習室

17：30～20：30　理事会　21 演習室

（学会出版企画編集会議の日時は後ほど追加予定）

3月7日（金）

10：00　開場・受付　基盤教育1号館　入口付近

10：25　開会挨拶　122 教室　　大会委員長　山本英弘（山形大）

10：30～11：45　自由報告

【第1部会】移民・国際比較　122 教室　　司会　田辺俊介（早稲田大）

1	In and out of the enclave: Understanding the assimilation of migrants over time through sequence analysis	千早健次（Umeå University）
2E	Hospitality or Hostility? Acceptance Attitude of Japanese toward Immigrants	Jie ZHANG（早稲田大）
3E	The Employment Effects of Post-Industrialization	長松奈美江（関西学院大）

【第2部会】メディア・言説　124 教室　　司会　鈴木努（東北学院大）

1	メディアのグローバル化が文化の多様化に与える効果――文化伝播モデルの多メディア環境への拡張	○山本仁志（立正大） 小川祐樹（立正大）
2	Twitter での政治的コミュニケーションを促進する要因――意見風土認知とツイートとの関連性	○小川祐樹（立正大） 山本仁志（立正大） 宮田加久子（明治学院大）
3	原発事故避難者の帰還意図の規定要因について――テキストマイニングによる分析	大浦宏邦（帝京大）

＊＊＊＊昼食＊＊＊＊

13：00～14：20　萌芽的セッション（ポスター報告）　126、127 教室

1E	How a group should be divided into subgroups for maximum efficiency	関口卓也（日本学術振興会，総合研究大学院大）
2	交友関係の形成過程に着想を得た自己組織化の数理モデル	○加納剛史（東北大） 大須賀公一（大阪大） 川勝年洋（東北大） 石黒章夫（東北大, JST CREST）
3	シグナリング・ゲーム再考：Maximin 合理性の立場から	河野敬雄
4	高齢者における社会関係の男女差――mover-stayer 分析を用いて	中田知生（北星学園大）
5	社会運動に対する態度の諸類型	山本英弘（山形大）
6	新聞記事における「外国人」表象	永吉希久子（東北大）
7	ネットワークにおけるデマと訂正情報のタイムラグの影響	○小倉幾太郎（芝浦工業大） 武藤正義（芝浦工業大）

8	サッカーゲームへの社会ネットワーク分析の適用――FIFA2010 ワールドカップにおけるスペイン代表チームと日本代表チームとの差異の定量化	杉原桂太（南山大）
9	福祉国家への支持に対する信頼の効果の分析	池田裕（京都大）
10	モンゴル国におけるナショナル・アイデンティティの計測に関する諸課題	湊邦生（立命館大）
11	教育達成における家族間・家族内の性別間格差の検討	苫米地なつ帆（東北大）
12	「日本人の条件」と社会的属性の関連――インターネット調査結果の分析	石田淳（大阪経済大）
13	ひとり親世帯出身者の教育達成と政策の関連についての検討	斎藤裕哉（首都大学東京）
14	放射線に関する不安の調査における知識測定の問題	鈴木努（東北学院大）
15	評判利用による協力の進化モデルの拡張；選別可能性の操作が規範維持へ与える効果	○鈴木貴久（総合研究大学院大学） 小林哲郎（国立情報学研究所）
16	ランニング・コミュニティの形成――皇居ランナーへの調査票調査	○武藤正義（芝浦工業大） 鈴木浩樹（芝浦工業大）
17	企業規模の違いが女性の再就労に与える影響	竹内麻貴（立命館大，日本学術振興会）
18	70 年～80 年出生コーホートの離家行動の規定要因の実証分析――NFRJ08 データを用いたイベントヒストリー分析をとおして	吉田俊文（首都大学東京）
19	異文化交流の場としての芸術の出現	堀内史朗（山形大）

14：30～16：30　　ワンステップアップ・セミナー「社会的選択理論入門」
講師：志田基与師（横浜国立大）　122 教室

16：40～17：40　　総会　122 教室

18：30～20：30　　懇親会　山形国際ホテル　3 階「富士西の間」

3月8日（土）

9：00　開場・受付　基盤教育１号館　入口付近

9：30～10：45　自由報告

【第３部会】経済・シミュレーション　122 教室　　司会　七條達弘（大阪府立大）

1	公共財ゲームにおける集団の動的変化の効果――懲罰なしで公共財を供給する方法	大林真也（東北大）
2	経済的講集団における直接互恵性――進化シミュレーションと被験者実験から	◯小池心平（東京工業大） 中丸麻由子（東京工業大） 大高時尚（東京工業大） 島尾堯（東京工業大） 下村研一（神戸大学経済経営研究所） 大和毅彦（東京工業大）
3	「帝国主義」から「主権尊重」への≪進化≫――社会学的新制度主義のゲーム論的解釈	神山英紀（帝京大）

【第４部会】教育・階層　124 教室　　司会　多喜弘文（東京大）

1	Compulsory Education and Adolescent Suicide	鎌田拓馬（東北大）
2	構造方程式による教育達成の階層間格差の検証	濱本真一（東北大）
3	名前に関する階層判断と Social Taste――コンジョイント分析による推計	久山健太（大阪大）

＊＊＊＊コーヒーブレイク＊＊＊＊

11：00～12：15　自由報告

【第５部会】ネットワーク・結婚　122 教室　　司会　赤枝尚樹（関西大）

1	学歴階層結合の研究――未婚カップルと既婚カップルの違いに注目して	◯茂木暁（東京大） 石田浩（東京大）
2	初婚関数の動態化とそれが示唆すること	池周一郎（帝京大）
3	ネットワークダイナミクスと一般的信頼について――大学のゼミナール活動を通して	藤山英樹（獨協大）

【第６部会】計量の方法　124 教室　　司会　佐藤嘉倫（東北大）

1	組み合わせ型匿名性尺度における得票数秘匿の効果――エントロピー型尺度における効果との比較	◯岩井淳（群馬大） 橋本和樹（群馬大）
2	職業・産業コーディング自動化システムの一般公開に向けた課題と対応	◯高橋和子（敬愛大） 多喜弘文（東京大） 田辺俊介（早稲田大） 李偉（東工大）
3	収入のグループ内分散をモデル化する――Variance Function Regression によるリスク・不安定性へのアプローチ	小川和孝（東京大, 日本学術振興会）

12：15　閉会挨拶　122 教室　　大会委員長　山本英弘（山形大）

（備考）

1　○印は登壇者を示します．E は英語による報告です．The E symbol stands for English presentations.

2　「抜き刷り交換コーナー」を設けます．論文，報告書，マニュアル，自作ソフトなどを置けます．事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます．

3　ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です．詳細はセミナー案内をご覧ください．定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします．

（変更履歴）

2014 年 2 月 3 日　暫定版プログラム

（予定）

2014 年 2 月 5 日　大会前確定版プログラム

2014 年●月●日　大会後確定版プログラム（予定）